

平成27年度 施策実施状況

目標1 安全安心な食品の確保

施策1 生産・出荷段階における安全安心の確保

1 安全な農作物の提供の推進

農家への農薬の適正使用に関する監視指導や、農産物の生産工程における適切な管理方法・生産方法を示すGAP（農業生産工程管理）手法の導入促進、化学合成農薬や化学肥料の使用量等を低減して生産された農産物を認証する「特別栽培農産物認証制度」の普及啓発をなどを通して、安全な農産物の供給と環境負荷低減を目指した環境保全型農業を推進しています。

ア 生産現場における農薬の適正使用（営農支援課）

個別の取り組み	単位	現況値 H25	実績						目標値 H31
			H27		H28	H29	H30	H31	
			実績値	達成度	実績値	実績値	実績値	実績値	
農薬販売店に対する検査件数	(件/年)	100	109	A	—	—	—	—	100
農薬適正使用講習会の開催回数	(回/年)	13	9	B	—	—	—	—	10

イ 農薬の管理を含めた総合的な自主管理体制の取り組み（営農支援課）

個別の取り組み	単位	現況値 H25	実績						目標値 H31
			H27		H28	H29	H30	H31	
			実績値	達成度	実績値	実績値	実績値	実績値	
国のガイドラインに基づいたGAPの導入農家数（累計）	(人/年)	38	54	—	—	—	—	—	99
エコファーマー認定件数（累計）	(人/年)	352	862	—	—	—	—	—	*942
特別栽培農産物認証件数（累計）	(件/年)	322	449	—	—	—	—	—	472

※H28推進本部で「717」→「942」へ上方修正

ウ 残留農薬検査等の実施（生活衛生課）

個別の取り組み	単位	現況値 H25	実績						目標値 H31
			H27		H28	H29	H30	H31	
			実績値	達成度	実績値	実績値	実績値	実績値	
流通農産物の残留農薬検査（検体数×検査項目）	(項目/年)	5,544	5,490	A	—	—	—	—	★5,280

★各年度の監視指導計画に基づく

Pick Up!



エコファーマー認定人数（営農支援課）

化学肥料や化学合成農薬の低減による環境保全型農業の生産方式に取り組んでいる農業者の認定制度であるエコファーマーの育成を推進しています。平成 27 年度は、新規認定・再認定・品目追加認定を 24 件の農家に対し行いました。エコファーマー認定人数は累計で 862 人となり、着実に増加しています。

Pick Up!



特別栽培農産物認証件数（営農支援課）

化学合成農薬や化学肥料の削減等に生産された農産物を「沖縄県特別栽培農産物」として認証する制度を普及啓発しています。

平成 27 年度は、年間 3 回の認証作業を行い、特別栽培農産物認証件数は累計で 449 件となりました。

また、環境保全型農業に取り組む「うるま市ビーツ生産組合」が農林水産大臣賞を受賞し、県内外へ広く PR することができました。

Pick Up!



流通農産物の残留農薬検査項目数（生活衛生課）

中央卸売市場や販売店から収去した農産物について、残留農薬検査を実施し、検査結果については生産者、販売者及び関係課にフィードバックしています。平成 27 年度は、4 種類の県産農産物（キュウリ、ゴーヤー、ヘチマ、インゲン）について、223～234 項目の農薬検査を行ったところ、ゴーヤー及びインゲンで適用外農薬が検出されました。農薬取締法違反のため、所管課において生産農家への農薬の適正指導を実施し、再発防止を図りました。

2 安全な畜産物・水産物の提供の推進

牛や山羊に対する TSE (BSE) スクリーニング検査や死亡牛に対する BSE 検査の実施、と畜場や食鳥処理場に対する監視指導を通じて、食肉・食鳥肉の安全性を確認しています。

また、動物用医薬品や水産用医薬品が畜・水産物に残留しないよう、畜産農家や養殖業者に対して適正使用を促進し、畜・水産物の安全性を確保しています。

ア TSE (BSE) 対策の推進 (畜産課)

個別の取り組み	単位	現況値	実績						目標値
		H25	H27		H28	H29	H30	H31	H31
			実績値	達成度	実績値	実績値	実績値	実績値	
動物由来たんぱく質の混入防止に係る指導戸数	(戸/年)	46	45	A	—	—	—	—	45

イ と畜検査・食鳥検査の実施及び食肉・食鳥肉の衛生確保の推進 (生活衛生課)

個別の取り組み	単位	現況値	実績						目標値
		H25	H27		H28	H29	H30	H31	H31
			実績値	達成度	実績値	実績値	実績値	実績値	
と畜場・食鳥処理場職員への講習会開催回数	(回/年)	20	10	A	—	—	—	—	8
と畜場の監視回数	(回/年)	66	69	B	—	—	—	—	★72
食鳥処理場 (大規模・認定小規模) の監視回数	(回/年)	34	38	A	—	—	—	—	★30

★各年度の監視指導計画に基づく

ウ 動物用医薬品等の適正使用の促進と残留検査の実施 (畜産課、生活衛生課)

個別の取り組み	単位	現況値	実績						目標値
		H25	H27		H28	H29	H30	H31	H31
			実績値	達成度	実績値	実績値	実績値	実績値	
動物用医薬品の適正使用及び販売の調査件数	(件/年)	46	46	A	—	—	—	—	45
飼料等の製造・流通段階における検査や指導数	(件/年)	15	15	A	—	—	—	—	15
畜水産食品の残留抗生物質検査数	(検体/年)	114	122	B	—	—	—	—	★123

★各年度の監視指導計画に基づく

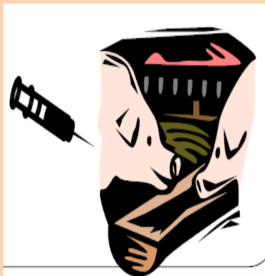
エ 水産医薬品の適正使用の促進と残留検査の実施（水産課）

個別の取り組み	単位	現況値	実績						目標値
		H25	H27		H28	H29	H30	H31	H31
			実績値	達成度	実績値	実績値	実績値	実績値	
養殖経営体数に対する指導経営体数の割合	(%/年)	100	100	A	—	—	—	—	100
水産用医薬品使用実態調査の実施回数	(回/年)	1	1	A	—	—	—	—	1

オ 家畜伝染病発生予防及び危機管理体制の強化（畜産課）

個別の取り組み	単位	現況値	実績						目標値
		H25	H27		H28	H29	H30	H31	H31
			実績値	達成度	実績値	実績値	実績値	実績値	
家畜伝染病発生予防及び危機管理体制の強化に係る連携会議の開催回数	(回/年)	4	7	A	—	—	—	—	4

Pick Up!



動物用医薬品の適正使用及び販売の調査件数（畜産課）

動物用医薬品が適正に販売・使用され、安全な畜産物が生産されるよう、動物用医薬品に関する監視指導を実施しています。

平成 27 年度は、動物用医薬品販売業者、診療施設や生産者、計 46 件への立入検査を行い、動物用医薬品の休薬期間や用法・用量の遵守について、適正な使用及び販売の指導を行いました。

Pick Up!



養殖経営体数に対する指導経営体数の割合（水産課）

養殖魚介類を安全・安心な食品として生産するために、養殖業者に対する巡回指導を行っています。

平成 27 年度は、県内で給餌養殖（魚類、クルマエビ、ウナギ、スッポン）を行っている 52 経営体に対し、餌料や水産用医薬品の適正使用等の養殖管理衛生について、巡回指導を行いました。

Pick Up!



家畜伝性病発生予防及び危機管理体制の強化に係る連絡会議の開催回数（畜産課）

家畜伝染病が発生した場合における危機管理体制を強化するため、連絡会議や防疫演習等を実施しています。

平成 27 年度は、口蹄疫等の海外悪性伝染病が県内に侵入した場合を想定した防疫演習を各家畜保健衛生所（中央・北部・宮古・八重山）で計 5 回開催し、防疫体制や関係機関（市町村・畜産関係者・県警等）の役割等に関して事前確認を行いました。

また、特定家畜伝染病危機管理対策会議を 2 回開催し、連絡体制等の情報を共有しました。

施策2 製造・加工・調理・流通・販売・消費段階における安全安心の確保

3 食品の製造・調理・販売段階における安全確保

沖縄県食品衛生監視指導計画に基づき食品関連事業者への監視指導や流通食品の収去検査を行い、施設の衛生確保や流通食品の安全性を確認しています。

また、学校給食施設においては、施設の点検や関係者に対する研修会を通して、衛生管理の徹底を図り、安全安心な学校給食を提供しています。

ア 食品関連事業者に対する監視指導（生活衛生課）

個別の取り組み	単位	現況値	実績						目標値
		H25	H27		H28	H29	H30	H31	H31
			実績値	達成度	実績値	実績値	実績値	実績値	
食品施設監視指導回数	(回/年)	9,384	10,332	A	—	—	—	—	★9,238

★各年度の監視指導計画に基づく

イ 食品関連事業者の自主管理の促進（生活衛生課）

個別の取り組み	単位	現況値	実績						目標値
		H25	H27		H28	H29	H30	H31	H31
			実績値	達成度	実績値	実績値	実績値	実績値	
食中毒予防のための講習会開催回数	(回/年)	241	262	A	—	—	—	—	250
食品衛生責任者養成講習会開催回数	(回/年)	19	20	A	—	—	—	—	12
食品関連事業者団体による巡回指導件数	(件/年)	4,000	5,000	A	—	—	—	—	4,600

ウ 食品収去検査の実施（生活衛生課）

個別の取り組み	単位	現況値	実績						目標値
		H25	H27		H28	H29	H30	H31	H31
			実績値	達成度	実績値	実績値	実績値	実績値	
食品の収去検査検体数	(検体/年)	1,489	1,537	A	—	—	—	—	★1,376

★各年度の監視指導計画に基づく

エ 【新規】流通食品の放射性物質検査の実施（生活衛生課）

個別の取り組み	単位	現況値	実績						目標値
		H25	H27		H28	H29	H30	H31	H31
			実績値	達成度	実績値	実績値	実績値	実績値	
流通食品の放射性物質検査検体数	(検体/年)	94 (参考)	70	A	—	—	—	—	★70

★各年度の沖縄県食品の放射性物質検査実施計画に基づく

才 学校給食の安全性の確保（保健体育課）

個別の取り組み	単位	現況値	実績						目標値
		H25	H27		H28	H29	H30	H31	H31
			実績値	達成度	実績値	実績値	実績値	実績値	
定期点検を実施する学校給食施設数	(施設/年)	133	130	A	—	—	—	—	132*
学校給食関係者に対する研修会の開催回数	(回/年)	5	5	A	—	—	—	—	5

※うち、2施設は、休止・廃止

Pick Up!



食品の収去検体数（生活衛生課）

沖縄県食品衛生監視指導計画に基づき、県内で製造又は販売される流通食品の収去検査を実施しています。

平成 27 年度は、1,537 検体の検査を県内 3 保健所（中部・宮古・八重山）、衛生環境研究所及び食肉衛生検査所において実施しました。検査結果については、製造者・販売者へフィードバックを行うと共に、違反食品については、製造所等の監視指導を行い、衛生管理の徹底と製造工程における改善策を講じさせ、再発防止を図っています。

Pick Up!



定期点検を実施する学校給食施設数（保健体育課）

学校給食調理施設及び給食用食品の定期的な点検を実施し、衛生管理の徹底を図るよう指導しています。

平成 27 年度は、休業を除く全 130 施設の調理場の点検を行いました。点検については調理場相互で点検項目に沿ってチェックを行い、給食用食材については微生物検査を実施しました。調理場内の衛生状況を把握し、施設設備の改善や作業工程の見直しにつなげることができました。

Pick Up!



学校給食関係者に対する研修会の開催回数（保健体育課）

学校関係者に対し、調理場の衛生管理や専門的な技術を確保するための研修会を開催しています。

平成 27 年度は、年間 5 回開催し、学校給食の衛生管理の徹底やノロウイルスの脅威や予防を周知することで、食中毒防止につなげ、安全安心な学校給食を実施することができました。

4 食品表示の適正化の推進

食品衛生法・JAS法、健康増進法の食品表示の規定を統合した「食品表示法」が平成27年4月に施行されたことから、食品関連事業者に対して巡回指導や講習会を開催し、食品表示法に基づく新たな表示制度について十分な情報提供を行っています。

また、関係課が合同で監視指導を行い連携を図ると共に、合同で講習会を開催して、食品関連事業者への法令の遵守及び周知を図っています。

ア 各法律に基づく監視指導の充実（生活衛生課、流通・加工推進課、健康長寿課、消費・暮らし安全課）

個別の取り組み	単位	現況値	実績						目標値
		H25	H27		H28	H29	H30	H31	H31
			実績値	達成度	実績値	実績値	実績値	実績値	
食品表示法に関する巡回調査・点検件数	(件/年)	—	11,090	A	—	—	—	—	6,300
健康増進法の誇大表示に係る巡回調査件数	(件/年)	—	303	A	—	—	—	—	300
景品表示法に関する相談及び表示指導件数	(件/年)	127	131	—	—	—	—	—	随時
景品表示法に基づく観光土産品の表示指導回数	(回/年)	2	2	A	—	—	—	—	2

イ 適正な食品表示の促進

（生活衛生課、流通・加工推進課、健康長寿課、消費・暮らし安全課、薬務疾病対策課）

個別の取り組み	単位	現況値	実績						目標値
		H25	H27		H28	H29	H30	H31	H31
			実績値	達成度	実績値	実績値	実績値	実績値	
食品表示法等に関する表示講習会開催回数	(回/年)	—	95	A	—	—	—	—	5
景品表示法に関する表示講習会開催回数	(回/年)	3	7	A	—	—	—	—	3
医薬品医療機器等法（旧：薬事法）に関する表示講習会開催回数	(回/年)	2	1	A	—	—	—	—	1

Pick Up!

食品表示法に関する巡回調査・点検件数

(生活衛生課、流通・加工推進課、健康長寿課)



食品表示法に基づく食品表示の普及啓発及び適正化を図るため、食品製造・加工業者、食品販売業者等の巡回調査を実施しています。

平成 27 年度は 3 課合わせて年間 11,090 件の調査を行い、5 月の食品表示月間には、合同による巡回指導も実施しました。

那覇牧志の公設市場、空港土産物小売店、スーパー等を巡回し、不適正な表示について速やかに改善するように指導し、食品表示の適正化を図っています。

Pick Up!

健康増進法の誇大表示に係わる巡回指導回数 (健康長寿課)



健康増進法に基づく表示適正化の指導を強化するため、食品製造加工業者、食品販売者等が製造販売する健康食品・加工食品等の巡回指導を各保健所で実施しています。

平成 27 年度は、道の駅、空港、お土産品店、スーパー等において、年間 10 回巡回調査を行い、計 303 品の表示を確認しました。

Pick Up!

景品表示法に基づく観光土産品の表示指導回数

(消費・くらし安全課)



食品製造・加工業者が製造販売する観光土産品について、景品表示法に基づく表示適正化の指導を強化しています。

平成 27 年度は、沖縄県物産公社主催の優良県産品表示審査会及び沖縄県観光おみやげ品公正取引協議会主催の観光土産品認定審査会で出品された合計 62 点について審査・指導を行いました。

Pick Up!

景品表示法に関する表示講習会開催回数（消費・くらし安全課）

食品関連事業者等を対象に景品表示法に関する講習会を開催し、適正な表示の知識を普及啓発します。

平成 27 年度は、関係団体と連携した講習会を開催し、平成 26 年度に改正された景品表示法の周知・啓発により不当表示の未然防止を図りました。

また、沖縄県飲食業衛生同業組合と連携して、県内 5 地区で事業者向け講習会を開催し、飲食事業者に対し広く周知・啓発を行いました。

開催日時	開催場所	講師	定員	費用
① 1月20日(水)	那覇市中央公民館 那覇支部	名 塚 裕 弘 / 名 塚 裕 弘 法 政 学 院 法 政 学 部 法 政 学 科 法 政 学 専 攻 長	80名	800円
② 1月27日(水)	那覇市中央公民館 那覇支部	名 塚 裕 弘 / 名 塚 裕 弘 法 政 学 院 法 政 学 部 法 政 学 科 法 政 学 専 攻 長	80名	800円
③ 2月3日(水)	那覇市中央公民館 那覇支部	名 塚 裕 弘 / 名 塚 裕 弘 法 政 学 院 法 政 学 部 法 政 学 科 法 政 学 専 攻 長	200名	2000円
④ 2月10日(水)	那覇市中央公民館 那覇支部	名 塚 裕 弘 / 名 塚 裕 弘 法 政 学 院 法 政 学 部 法 政 学 科 法 政 学 専 攻 長	100名	1000円
⑤ 2月17日(水)	那覇市中央公民館 那覇支部	名 塚 裕 弘 / 名 塚 裕 弘 法 政 学 院 法 政 学 部 法 政 学 科 法 政 学 専 攻 長	80名	800円

Pick Up!

医薬品医療機器等法(旧：薬事法)に関する表示講習会の開催回数（薬務疾病対策課）

健康食品等の広告を行う事業者や食品関連事業者を対象に表示に関する講習会を毎年開催しています。

平成 27 年度は、沖縄県総合事務局主催の「沖縄の薬用植物等に関する講演会」において講演を行いました。販売及び購入の両サイドに対して、虚偽誇大な広告の防止及び広告の適正化等について普及啓発を図りました。

沖縄の薬用植物等に関する講演会開催の概要

健康食品等の広告を行う事業者や食品関連事業者を対象に表示に関する講習会を毎年開催しています。

平成 27 年度は、沖縄県総合事務局主催の「沖縄の薬用植物等に関する講演会」において講演を行いました。販売及び購入の両サイドに対して、虚偽誇大な広告の防止及び広告の適正化等について普及啓発を図りました。

1 日時、開催場所等
 ○ 平成 27 年 10 月 26 日(月) 13:30~16:00
 ○ 那覇地方庁舎 合同庁舎 1 号館 2 階 大会議室
 (沖縄県那覇市中央公民館 1 号館 2 階)

2 参加費等
 ○ 講演料 無料
 ○ 入場料 無料(定員 100 名程度)

3 講演内容(予定)
 1 薬用植物の活用について
 2 薬用植物の活用について
 3 薬用植物の活用について
 4 薬用植物を活用した薬膳メニューの紹介
 5 薬用植物の活用について

5 輸入食品の安全対策の強化

ア 検疫所と連携した監視体制の充実【数値目標なし】（生活衛生課）

平成 27 年度は検疫所との合同監視は実施していませんが、南部保健所及び那覇市保健所並びに那覇検疫所との間で、情報交換会を 2 回実施しました。

施策 3 食品の安全性確保のための体制の充実

6 食品の安全に関する調査・研究の推進

県産農産物栽培における化学農薬や化学肥料低減のための試験研究や、疾病家畜の検査及び病性鑑定、流通食品の食中毒菌汚染実態調査等を行い、食品の安全性に関する研究や実態把握に努めています。また、食品衛生検査施設においては、食品分析結果の信頼性の確保に努めています。

ア 農薬の使用量低減のための研究の推進（営農支援課）

個別の取り組み	単位	現況値	実績						目標値
		H25	H27		H28	H29	H30	H31	H31
			実績値	達成度	実績値	実績値	実績値	実績値	
化学合成農薬低減に向けた試験項目	(課題/年)	2	2	A	—	—	—	—	2

イ 家畜の疾病予防及び原因究明のための病性鑑定の充実（畜産課）

個別の取り組み	単位	現況値	実績						目標値
		H25	H27		H28	H29	H30	H31	H31
			実績値	達成度	実績値	実績値	実績値	実績値	
疾病原因の究明を行った検査頭羽数	(件/年)	8,159	13,826	A	—	—	—	—	7,000

ウ 食中毒についての調査研究（生活衛生課）

個別の取り組み	単位	現況値	実績						目標値
		H25	H27		H28	H29	H30	H31	H31
			実績値	達成度	実績値	実績値	実績値	実績値	
食中毒菌汚染実態調査検体数	(検体/年)	100	110	A	—	—	—	—	★110

★各年度の沖縄県食品の食中毒菌汚染実態調査計画に基づく

工 食品衛生検査施設における信頼性の確保（生活衛生課）

個別の取り組み	単位	現況値	実績						目標値
		H25	H27		H28	H29	H30	H31	H31
			実績値	達成度	実績値	実績値	実績値	実績値	
内部点検の実施施設数	(施設/年)	8	8	A	—	—	—	—	8
制度管理（微生物・理化学）の実施回数	(回/年)	2	2	A	—	—	—	—	2
外部精度管理調査への参加施設数	(施設/年)	2	2	A	—	—	—	—	2

Pick Up!



疾病原因の究明を行った検査頭羽数（畜産課）

家畜の疾病対策として、疾病家畜の検査及び病性鑑定を実施しています。平成 27 年度は、生産農場で発生した家畜疾病の鑑定を行うと共に、高病原性鳥インフルエンザやサルモネラ属菌等のモニタリング検査、疾病の蔓延がないかを確認する湿潤状況調査等を実施し、当該疾病の清浄性確認を行いました。（平成 27 年度実績 13,826 件）

7 緊急事態における体制の維持・強化

ア 緊急時の関係各課の連携の推進【数値目標なし】（生活衛生課）

平成 27 年度は、全庁的な危機管理対応が必要となる緊急事態は発生していないため、緊急時の招集は行っていません。ただし、「沖縄県食品の安全安心推進本部会議」を 1 回開催し、関係部局の施策の実施状況報告を行いました。

Pick Up!



緊急時の関係各課の連携の推進（関係各課）

緊急事態が発生し、全庁的に対応する必要がある場合には、沖縄県食品の安全安心推進本部会議を臨時開催し、迅速な対応を行います。

平成 27 年度は緊急時の開催はありませんが、推進計画の実施状況に関して推進本部会議を 1 回開催し、関係部局の施策の実施状況の把握と連携を図りました。

目標II 食品に対する安心感の提供

施策4 食品の安全性に対する理解促進

8 安全安心な食品に関する知識の普及啓発

消費者や児童生徒が食品に関する正しい知識を身につけ、自らの判断で安全な食品を選択できるような消費者学習教室や食中毒予防イベントを開催しています。また、学校給食だより等を発行して、家庭における食品衛生等に関する情報提供を行っています。

ア 一般消費者の食品に関する知識の普及啓発（消費・くらし安全課、生活衛生課）

個別の取り組み	単位	現況値	実績						目標値
			H27		H28	H29	H30	H31	
			実績値	達成度	実績値	実績値	実績値	実績値	
地域に講師を派遣する移動講座の受講者数	(人/年)	574	59	—	—	—	—	—	随時
各学校に講師を派遣する消費者学習教室の受講者数	(人/年)	248	341	—	—	—	—	—	随時
食中毒予防イベント回数	(回/年)	5	5	A	—	—	—	—	5

イ 幼児・児童生徒の食品に関する理解促進（消費・くらし安全課、保健体育課）

個別の取り組み	単位	現況値	実績						目標値
			H27		H28	H29	H30	H31	
			実績値	達成度	実績値	実績値	実績値	実績値	
消費者への啓発のための親子実験教室受講者数	(人/年)	247	400	A	—	—	—	—	300
給食だよりの発行数	(回/年)	11	11	A	—	—	—	—	11

ウ 【新規】学校給食における食物アレルギーへの対応（保健体育課）

個別の取り組み	単位	現況値	実績						目標値
			H27		H28	H29	H30	H31	
			実績値	達成度	実績値	実績値	実績値	実績値	
学校給食アレルギー献立表の発光数	(回/年)	11 (参考)	11	A	—	—	—	—	11

Pick Up!



食中毒予防イベント開催（生活衛生課）

8月の食品衛生月間期間中に、街頭キャンペーンを始めとしたイベントを開催しています。平成27年度は、各保健所において、食品関連事業者や消費者を対象に街頭キャンペーンを行い、パンフレットの配布や、食中毒に関するパネル展示、手洗い教室の開催等を通じて、食中毒予防に関する啓発活動を行いました。又、スーパー店舗内での巡回指導や食品関連事業者への衛生講習会を実施して食品衛生思想の普及啓発を図っています。

Pick Up!



消費者への啓発のための親子実験教室受講者数 （消費・くらし安全課）

食品についての正しい知識を提供するため、小中学生とその父兄に対し、商品テスト等の親子実験教室を開催しています。

平成27年度は、合成着色料の検出、手作り炭酸飲料の実験や食品表示の確認を通して、食品添加物や糖分の添加量などに関する正しい知識を身につけてもらいました。

施策5 安全安心な県産食品の推奨

9 優良な県産食品の推奨

優良県産品の展示・宣伝、普及啓発を図ると共に、おきなわブランドの確立について、拠点産地形成・農林水産物の安定供給等の強化に取り組みます。

ア 優良県産品の推奨（ものづくり振興課、関係各課）

個別の取り組み	単位	現況値	実績						目標値
		H25	H27		H28	H29	H30	H31	H31
			実績値	達成度	実績値	実績値	実績値	実績値	
優良県産品の展示・宣伝回数	(回/年)	8	7	C	—	—	—	—	8

Pick Up!



優良県産品の展示・宣伝回数（ものづくり振興課）

沖縄県優良県産品は関係法令に基づく表示審査、検査機関による内容分析、製造所の審査等、厳正な審査を経て認定されています。

平成27年度においては、県庁ロビーや産業まつり、わしたショップ等において、優良県産食品推奨製品の展示・宣伝を行い、沖縄県優良県産品推奨制度及び推奨製品の普及啓発を行いました。

施策6 食品の安全性に関する情報の提供、公開、意見交換の推進

10 食品に対する正しい情報の提供

食品に関する苦情や相談のあった食品への簡易検査の実施や、食品による健康被害の拡大防止と再発防止を図るため、必要に応じて食中毒に関する情報を公表し、食品に関する正しい情報の提供を行っています。

ア 迅速な情報の提供（生活衛生課、消費・くらし安全課）

個別の取り組み	単位	現況値	実績						目標値
		H25	H27		H28	H29	H30	H31	H31
			実績値	達成度	実績値	実績値	実績値	実績値	
食品の安全安心に関する情報の発信	(回/年)	66	41	—	—	—	—	—	随時
食中毒情報の公表数	(回/年)	5	8	—	—	—	—	—	随時
食品の安全性に関する簡易検査等の実施回数	(回/年)	1	2	—	—	—	—	—	随時

Pick Up!



食品の安全安心に関すること

沖縄県の食品の安全安心に関する情報を県民の皆様へ発信しています。

食品の安全安心に関する情報の発信（生活衛生課）

沖縄県生活衛生課ホームページにおいて、食品衛生及び安全性に関する情報を随時、更新しています。

平成27年度は、自主回収情報、食品衛生監視指導計画、食品中の放射性物質モニタリング検査結果、食中毒の発生状況等の情報を合計41回掲載しました。

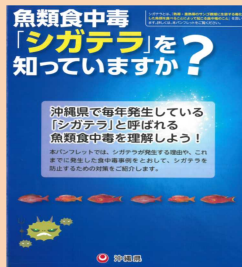
1 1 意見交換会の充実

食品の安全安心の確保について、行政、食品関連事業者や消費者を交えた意見交換会や、消費生活に関する諸課題について消費者との意見交換会の開催を通じて、関係者間での正しい情報の共有を図りました。

ア 県民、食品関連事業者との意見交換会の開催回数（生活衛生課、消費・くらし安全課）

個別の取り組み	単位	現況値	実績						目標値	
			H25	H27		H28	H29	H30		H31
				実績値	達成度	実績値	実績値	実績値		実績値
食品の安全安心に関する意見交換会の開催回数	(回/年)	1	1	A	—	—	—	—	1	
消費者との意見交換会開催回数	(回/年)	1	1	A	—	—	—	—	1	

Pick Up!



食品の安全安心に関する講習会意見交換会の開催（生活衛生課）

食品の安全安心の確保について、食品関連事業者や消費者等を対象に意見交換会や講習会を開催します。

平成 27 年度は、「自然毒食中毒を防止し、正しい知識を身につけよう。」と題した講習会を開催しました。県内で多く発生している魚類食中毒「シガテラ」の話題を中心に、基調講演、事例報告、パネルディスカッションを行いました。また、本講習会の開催を機に、これまで無かったシガテラ予防の普及啓発パンフレットを作成し、普及啓発に取り組みました。